

事業継続力の
健康診断

事業継続力の強化を、AIG損保とともに

レジリエンス診断を受けてみませんか？

①従業員から「**がんになりました**」と言われた時の回答を準備していますか？

②**サイバー攻撃**のおそれを感じた従業員がそのPCなどの端末に対して"
すぐ行うべきこと"、"行ってはならないこと"、についてご存知ですか？

③**自然災害や火災など**の被災時に、金融機関等から事業継続
にかかる資金調達は可能ですか？

④数十万円程度であっても**財務にマイナスの影響**を与えるリスクに
ついて、定期的に洗い出していますか？

レジリエンス：困難をしなやかに乗り越え回復する力＝「事業継続力」

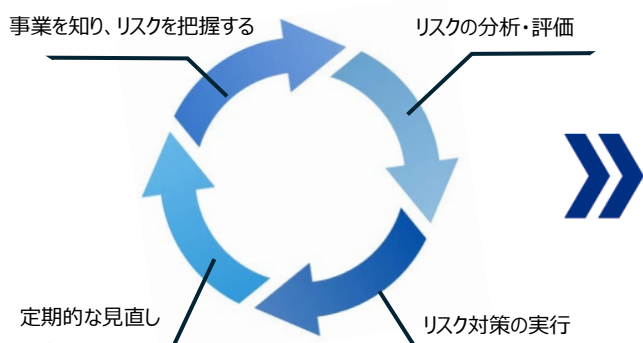
不確実性の時代の中でビジネス環境は複雑化し、企業が直面するリスクは、工場等の有形資産だけではなくテクノロジー等の無形資産に対しても対策が求められています。

近年は地震やゲリラ豪雨、台風などの自然災害だけでなく、サイバー攻撃などの新しいリスクや、賠償金の高額化などによって企業の事業継続が脅かされる機会も増えています。

私たちは、まずリスクにはどのような種類があるのかを認識することが必要と考えています。リスクについて理解することで初めてその対策を検討することができ、備えておくことで、緊急事態が起こっても早期の事業復旧ができれば企業価値は向上します。

リスクを認識するはじめての一歩として、1問1答方式の「レジリエンス診断」をおすすめします。

リスクマネジメントのプロセス



代表的なリスク対策

保有

自己資金などでリスクに対応
リスク発生時の影響が軽微な場合の
選択肢。

低減

リスクの発生源を特定し、
頻度を低くする策。

移転

保険加入等によりリスクの影響を
他者に肩代わりしてもらうこと。

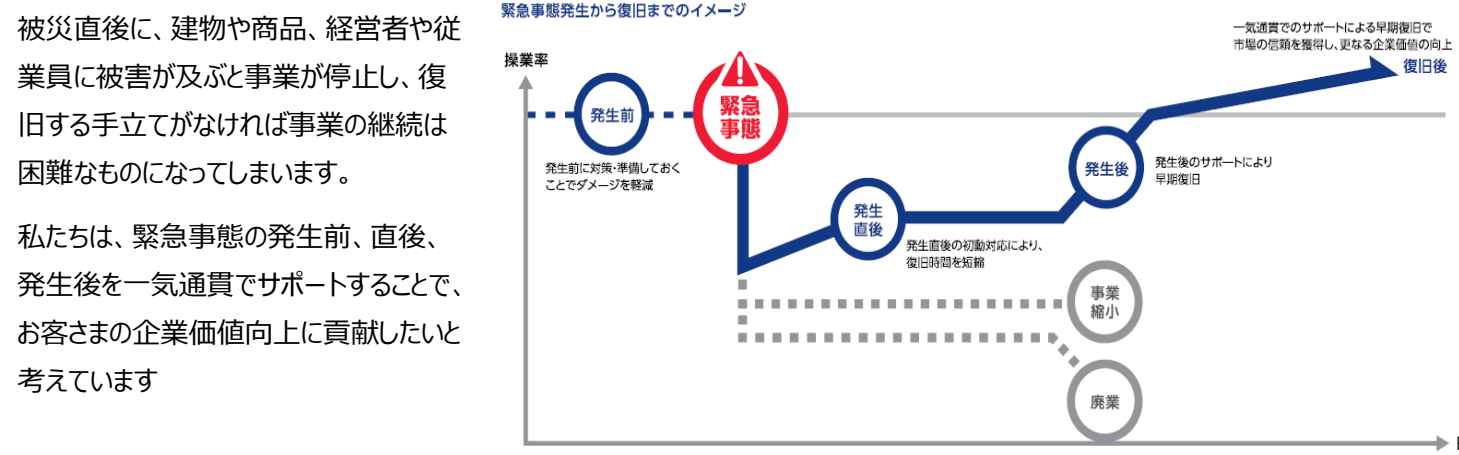
回避

そのリスクを向き合わないよう
事業を転換する等。

事業継続力の強化を
通じた企業価値の向上



AIG損保が目指す事業継続力強化を通じた企業価値の向上

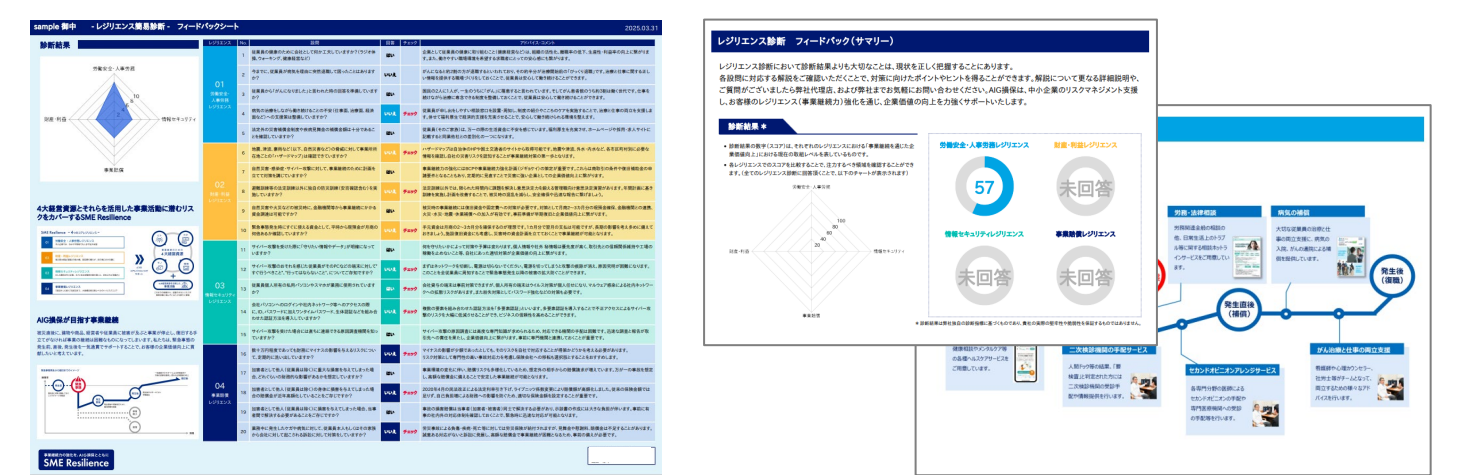


お客さまの事業継続力を5分で診断

アドバイス例

- ① 国民の2人に1人が、一生のうちに「がん」に罹患すると言われています。そしてがん患者数のうち約3割は働く世代です。仕事を続けながら治療に専念できる制度を整備しておくことで、従業員は安心して働き続けることができます。
- ② まずはネットワークを切断し、電源は切らないでください。電源を切ってしまうと攻撃の痕跡が消え、原因究明が困難になります。このことを全従業員に周知することで緊急事態発生以降の被害の拡大防ぐことができます。
- ③ 被災時の事業継続には復旧資金や固定費への対策が必要です。対策として月商2〜3カ月分の現預金確保、金融機関との連携、火災・水災・地震・休業補償への加入が有効です。事前準備が早期復旧と企業価値向上に繋がります。
- ④ マイナスの影響が少額であったとしても、そのリスクを自社で対応することが得策かどうかを考える必要があります。リスク対策として専門性の高い事故対応力を考慮し保険会社への移転も選択肢としてをおすすめします。

レポートイメージ



AIG損害保険株式会社

〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-2-30
03-6848-8500
午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）



<https://www.aig.co.jp/sonpo>

本サービス利用ご希望のお客さまは、以下ご記入のうえでご返信ください

返信先：

貴社名	
ご住所	
TEL	
ご担当者様	様